

科目名		英語表現Ⅴ (English Expression Ⅴ)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	経営情報学科	学修	1単位	必修	講義	後期 100分/週	45時間		
担当教員		【常勤】南 優次, 道本 祐子							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	TOEICテスト形式の問題を通して、学生になじみ深い日常生活に関連した語彙と表現を学習する。既習の文法と語彙の確認と反復練習を行い、実践的な英語の表現力を高めることを目的とする。 (1) 基本的な英文法のルールを確認し、英文から聞き取り、読み取ることができる。 (2) 日常的な語句に馴染み、それらを用いた英語表現ができる。								
学習・教育目標	(G)②	JABEE基準1(2)		(f)					
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	英語表現Ⅰ～Ⅳ								
教科書	「TOEICテスト形式で学ぶ日常英語表現」本多吉彦・狩野紀子著(南雲堂)								
補助教材等	英和・和英辞書								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	40		20					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	◎	◎							
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○		◎					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<b>【学習上の留意点】</b> ・適宜、授業後にE-mailでの英文レポートの提出を課します。成績評価の対象とするため、期限を守り、辞書、文法書等で確認をするなどの最大限の努力をして提出してください。 <b>【学習上の助言】</b> ・必ず英和辞典を携帯すること ・TOEIC受験を推奨する									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス はじめに	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる	
2	Chapter 1 日常生活	・可算・不可算名詞を含む文を読み取り、聞き取ることができる。 ・「日常生活」に関する語句を理解し、それらを用いた英語表現ができる	予習として、Chapter1の問題と、メールによる課題英作文の提出をすること。
3	Chapter 2 ファッション	・代名詞を含む文を読み取り、聞き取ることができる。 ・「ファッション」に関する語句を理解し、それらを用いた英語表現ができる	予習として、Chapter2の問題と、メールによる課題英作文の提出をすること。
4	Chapter 3 食料品の買い出し	・動詞の活用を理解し、それらを含む文を読み取り、聞き取ることができる。 ・「食料品の買い出し」に関する語句を理解し、それらを用いた英語表現ができる	予習として、Chapter3の問題と、メールによる課題英作文の提出をすること。
5	Chapter 4 料理	・自動詞・他動詞を含む文を読み取り、聞き取ることができる。 ・「料理」に関する語句を理解し、それらを用いた英語表現ができる	予習として、Chapter4の問題と、メールによる課題英作文の提出をすること。
6	Chapter 5 外食	・不完全動詞と完全動詞を含む文を読み取り、聞き取ることができる。 ・「外食」に関する語句を理解し、それらを用いた英語表現ができる	予習として、Chapter5の問題と、メールによる課題英作文の提出をすること。
7	演習(1)	・アクティビティを通して、既習の学習項目の復習と英語力の強化を図り、自らの英語力を把握することができる	予習として、演習問題解答の提出をすること。
8	中間試験		
9	Chapter 6 ショッピング	・助動詞を含む文を読み取り、聞き取ることができる。 ・「ショッピング」で用いられる語句を理解し、それらを用いた英語表現ができる	予習として、Chapter6の問題と、メールによる課題英作文の提出をすること。
10	Chapter 7 ハウジング・家具	・前置詞(場所)を含む文を読み取り、聞き取ることができる。 ・「ハウジング・家具」に関する語句を理解し、それらを用いて表現することができる	予習として、Chapter7の問題と、メールによる課題英作文の提出をすること。
11	Chapter 8 天気	・前置詞(時)を含む文を読み取り、聞き取ることができる。 ・「天気」に関する語句を理解し、それらを用いて表現することができる	予習として、Chapter8の問題と、メールによる課題英作文の提出をすること。
12	Chapter 9 映画芝居	・形容詞・副詞を含む文を読み取り、聞き取ることができる。 ・「映画・芝居」で用いられる語句を理解し、それらを用いて表現することができる	予習として、Chapter9の問題と、メールによる課題英作文の提出をすること。
13	Chapter 10 スポーツ	・現在進行形の文を読み取り、聞き取ることができる。 ・「スポーツ」で用いられる語句を理解し、それらを用いて表現することができる	予習として、Chapter10の問題と、メールによる課題英作文の提出をすること。
14	演習(2)	・アクティビティを通して、既習の学習項目の復習と英語力の強化を図り、自らの英語力を把握することができる	予習として、演習問題解答の提出をすること。
	期末試験		
15	答案返却・解答解説 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる	
総学習時間数			45 時間
講義			25 時間
自学自習			20 時間